

第3学年1組 国語科学習指導案

《国語教室》 《書写教室》 指導者 (T1) 江 頭 久美子
《国語メディア》 指導者 (T2) 長 州 ま い
《各ホームページ》 指導者 (T3) 白 土 瑞 樹

研究テーマ	話し合いを中心とした活動を通して、自分のものの見方や考え方を深めたり、広げたりする指導の工夫
-------	--

1 単 元 自分の感想を深めよう

2 単元について

本単元で「読むこと」の教材として取り上げられている「故郷」は「作品を読み深め、作者や作者の生きた時代を知ることによって、自分の意見を深める」ことのできる文学作品である。そこには中国近代の時代を背景としてそこに生きる登場人物の姿を通して、困難な状況において人間がどのように考え、変わっていくのか作者の意図が一つ一つの言葉、表現を通してあらゆる場面において表されている。そこで、生徒たちが「故郷」を通して、「文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと」や「その意見をさらに深めたり広げたりすること」ができるような学習過程を構想した。特にここでは、交流の場として、話し合いを中心とした言語活動を重視している。そのことが、「豊かな学びに向かうエネルギーを高める」ことにつながると考えたからである。

本学級の生徒（男子7名、女子17名、計24名）は、内容や構成、表現の一つ一つに着目しながら、自分なりに課題を立てて解決することに意欲的である。特に、一つの課題について友達の意見を聞いたり全員で話し合ったりして、自分の考えを深めていく方法は最も好むものである。また友達の前で自分が調べたことや考えたことを発表することもあまり抵抗がなくてできている。このため、課題追究のための調べ学習や話し合いを学習過程の中に位置付けることによって、意欲・関心が高まり、読みがより一層自分のものになると思われる。そこで指導に当たって、次の点に留意したい。

まず、自分なりに課題解決を行うという場を設定することによって、確かな内容の理解とそれに対するものの見方・考え方を一人一人がしっかりともてるようにしたい。次に話し合いを通して、課題解決した内容を友達と意見交換し、再度課題について話し合うことによって、自分のものの見方や考え方を深めることができるようにしたい。さらに、作品に対する作者の思いについて全体で話し合うことによって、作品への読み取りを確かなものとし、それに対する自分なりの考えを深めることができるようにしたい。またそれを促すための評価としては、単元のすべてを見通した学習計画と評価表を設けるとともに、話し合いという相互評価を通して、客観的な判断を取り入れ、自分の考えを確認し次の取組に役立つようにする。

3 目 標

- 読み取った内容や自分の考えをすすんで発表しようとする。 (関心・意欲・態度)
- 作者や時代背景を知り、作品の内容やそこに込められた作者の思いを読み取り、話し合いという言語活動を通して、さらに自分の意見を深めたり、広げたりすることができる。 (読む能力)
- 慣用句や故事成語、また度量衡の単位や助数詞の表す意味や用法に注意することができる。 (言語についての知識・理解・技能)

4 単元の指導計画と評価計画（9時間）

指導計画		評価計画			
次	時	学習活動・内容	評価の規準		評価の方法
	1	単元の計画を知り，見通しをもつ。 「故郷」の文章を読み，自分の課題を決める。	関心・ 意欲・ 態度	課題について関心をもち，進んで考えようとする。	観察
	2 3 4	課題を自分で決め，作者の生涯や時代背景，また学習の手引きを 手がかりとして，内容を読み取り，自分なりに課題解決を行う。	読む能力	文章を読んで，内容や表現，構成に着目し，書かれている情景を理解している。 課題に対して自分なりに結論を導き出している。	ワークシート
	5 (本時)	課題別の話合いを通して「故郷」に登場する人物の行動や心情，周りの情景等を読み取り，課題解決を行う。	読む能力	話合いを通して，「故郷」に登場する人物の行動や心情，周りの情景等を読み取り，課題解決を行って，自分のものの見方や考え方を深めている。	発言
	6 7	全体での話合いを通して，作品に対する作者の思いをとらえ，それに対する自分の感想をもつ。	関心・ 意欲・ 態度	読みとった内容や自分の考えを全体の場で話し合うことによって，作品に対する自分のものの見方や考え方を深めたり，広げたりしている。	発言 ノート
2	1	慣用句・故事成語の使い方を知る。	言語についての知識 ・理解 ・技能	慣用句・故事成語の使い方を理解し，適切に使っている。	発言 ノート
3	1	度量衡の昔の単位があることと助数詞の使い方を知る。 単元のまとめをする。	言語についての知識 ・理解 ・技能	度量衡の昔の単位があることを知り，助数詞を適切に使っている。	発言 ノート

6 本時の学習

(1) 目標

- 課題別の話合いを通して「故郷」に登場する人物の行動や心情，周りの情景等を読み取り，課題解決を行い，自分のものの見方や考え方を深めることができる。 (読む能力)

(2) 準備・資料

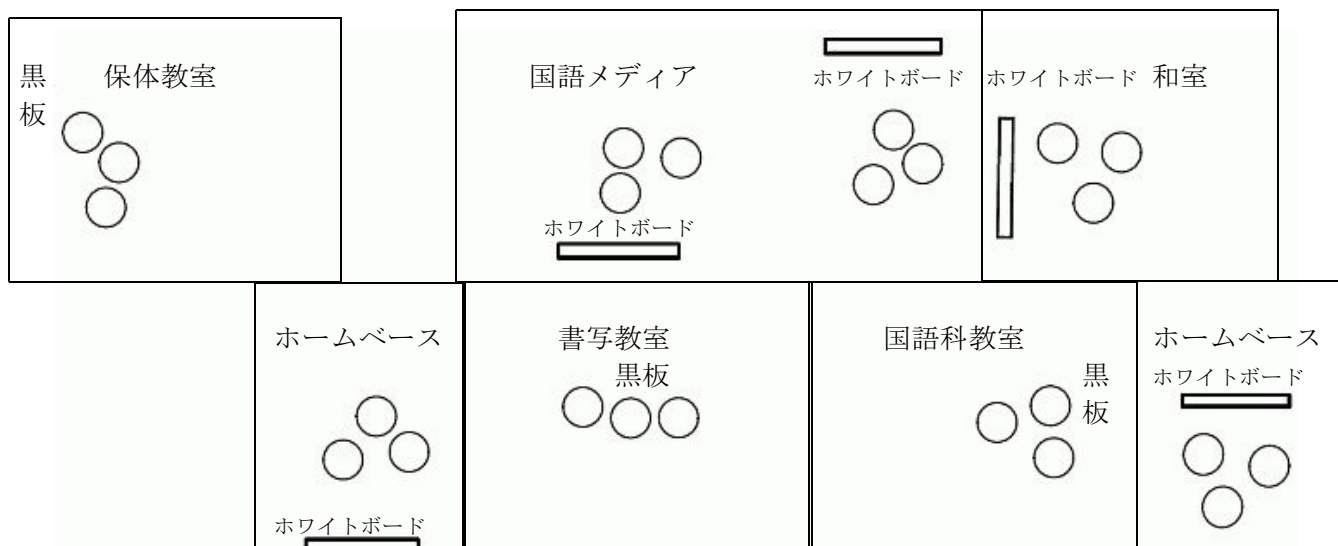
- ・ワークシート・原稿・振り返り表

(3) 板書

<p>今日の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目標の確認 ・全体 2 課題別の話し合い ・グループ 3 全体での話し合い ・全体 4 振り返り ・個人 	<p>○ 歴史的背景を考慮しているか いるか</p> <p>○ 周りの情景とどう関わっているか</p> <p>○ 「題」に着目したもの 「なぜ『故郷』という題なのか」</p>	<p>話し合いのポイント</p> <p>○ それはどこでわかるのか</p> <p>○ 人物の心情の変化とあっているか</p> <p>○ 「構成」に着目したもの 「なぜ現在・過去・現在の構成なのか」</p>	<p>課題</p> <p>○ 「内容」に着目したもの 「なぜ『海辺の緑の砂地がある・・・』があるのか」</p> <p>○ 「登場人物」に着目したもの 「なぜレントウやヤンおばさんは登場するのか」</p>
---	---	---	--

(4) 指導の工夫のポイント

① 課題別の話し合いの場面では、3人の小グループに分かれて国語メディアや各教室、ホームページで話し合いを行う。



② 後半は全体での話し合いとなる。国語科教室に戻り、各グループごとに着席し全体で話し合う。

<p>A 課題を解決する前に基本となることを必ずおさえること 作品(場面)について いつ (昔の場合は必ず当時の様子を調べること) どこで だれが 何をしたのか 場面分けを行うときは、まず時間、場所、登場人物の違い を手がかりとすること。</p> <p>B 調べ学習で解決する方法 * 登場人物に関する課題 1 場面ごとに登場人物の心情がわかる行動、会話、情景などを人物ごとに並べて抜き出す。 2 中心人物の心情曲線をかき。(変化のあったところではそのきっかけとなるものを書いておく。) 3 最も印象に残る場面(感動場面など)の登場人物の心情を考えながら、課題を解決する。</p> <p>* 内容に関する課題 1 場面ごとにおよその内容をつかむ。 2 課題をとらえている内容がどのような役割を果たしているか、登場人物の心情とからめて考える。 3 登場人物の心情の流れとその課題になっている内容を全体の場面からとらえ、課題を解決する。</p> <p>* 表現技法に関する課題 1 その表現がどの場面でもどのように使われているか全部抜き出す。 2 場面ごとにその表現の役割を人物の心情とからめて考える。 3 そのものの持つ印象(自分が受ける印象や辞書的な意味)をまとめる。 4 1から3までを総合して課題を解決する。 * 構成に関する課題 1 場面ごとに内容をつかむ。 2 一つ一つの場面がこの作品で果たす役割を考える。 3 1、2をふまえて課題を解決する。</p> <p>* 題に関する課題 1 場面ごとに内容をつかむ。 2 その内容がどのように次の場面につながっているか、つながりをつかむ。 3 つながり方と題との関連を考える。 4 題と同じ言葉がどのように使われているかを調べる。 5 題に使われている言葉の辞書的な意味を調べる。 6 1から5までを総合して課題を解決する。</p>	<p>参考資料(課題解決の手引き)</p>
--	-----------------------

(3) 展開

学 習 内 容・活 動	教 師 の 働 き か け と 評 価
<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>課題別の話し合いを通して内容の読み取りを深め、課題解決をしよう。</p> <p>2 課題別グループに分かれ、課題解決のために話し合う。</p> <p>※ 予想される課題例 (<input type="text"/> で表示)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに内容面、構成面その他において自分の課題を決め、課題解決の手引きを手がかりに、一人一人が課題解決を行って、それに対する自分の考えを論理的にまとめておくよう助言しておく。 (内容)(題)(構成)(登場人物)のグループに分かれることが予想されるが、各々について話し合いが効果的に行われるよう、以下の点を特に押さえる。(<input type="text"/> で表示)
<p>課題に対して登場人物や場面がどのように関わっているかを明確にすること。</p> <p>① (内容) ○「なぜ『海辺の緑の砂地がある・・・』があるのか」 ○「最後の場面の意味するものは」等</p> <p>② (登場人物) ○「なぜレントウやヤンおばさんは変わったのか」等</p> <p>課題解決が登場人物の心情の流れ、時代背景に沿っていること</p>	<p>場面の情景を前場面、後場面のつながりでまとめることによって、構成のしかたが見えているか、また、登場人物の心情とどう関わっているかをワークシートで確認すること。</p> <p>③ (構成) ○「なぜ現在と過去があるのか」等</p> <p>④ (題) ○「なぜ『故郷』という題はついたのか」</p> <p>題がどのような場面でのどのような登場人物の心情とから出てきているか確認すること</p> <p>「故郷」に登場する人物の行動や心情、周りの情景等を読み取ることに集約される。</p>
<p>3 話し合いで課題解決された内容について全体で話し合う。</p> <p>※ 予想される意見等</p> <p>① (内容) 「『海辺の・・・』は作者の考える『理想の社会』である」</p> <p>② (登場人物) 「過酷な社会状況によって登場人物は変わってしまった」</p> <p>③ (構成) 「現在と過去の情景を示すことで過酷な社会状況の中で人間性を失っていく姿を描いた」</p> <p>④ (題) 「『故郷』は主人公のあこがれの土地であり、作者の考える『これからの理想郷』である」</p> <p>4 本時を振り返り、次時の学習課題について確認する。 「作品に対する作者の思いについて話し合い、それに対する自分の考えを深めよう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> T1は全体の話合いを進め、T2・T3はそれぞれのグループで出された意見を発表するよう支援する。 他のグループでの話し合いの結果を聞くことによって、自分のものの見方や考え方をさらに深めることができるようにする。 <p>読む能力</p> <p>話し合いを通して、「故郷」に登場する人物の行動や心情、周りの情景等を読み取り、課題解決を行って、自分のものの見方や考え方を深めている。(発言)</p> <p>(おおむね達成の生徒の状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 情景の読み取りは確かであり、自分のものの見方や考え方も深めている。 <p>(配慮を要する生徒の状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 情景読み取りがあやふやである。 課題解決が論理的にできない。 <p>☆話し合いの内容と友達が述べた考えを参考に、自分の考えをさらに深めるよう助言する。</p> <p>★本文に戻って情景を確認し、正確に読み取ることができるようになる。</p> <p>★課題解決の根拠となる内容をいくつか確認し、順序立てて結論に結んでいくようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者のよさを認め、それを自分の考えに生かすことができるようにする。 振り返り表を通して自己を見つめ、次時をどのように取り組むべきか具体的に考えられるようにする。 次時は、課題解決の話し合いの結果得られた自分の考えをもとに、作品に対する作者の思いをとらえられるように流れをつくる。